

令和5年度第1回我孫子市総合教育会議 概要

- 件名／令和5年度 第1回我孫子市総合教育会議
- 日時／令和5年7月27日（木） 15：30～17：15
- 場所／杉村楚人冠記念館、白樺文学館
- 出席者／星野市長、丸教育長、蒲田教育委員、村松教育委員、新山教育委員、
中村教育委員、山元企画総務部長、山田教育総務部長、菊地生涯学
習部長
(教育総務課) 高橋課長
(文化・スポーツ課) 辻課長、今野係長、稲村主任学芸員
武藤学芸員
(秘書広報課) 安武課長

■傍聴者／施設の視察を伴うため、非公開とした。

■議題

1. 文化財施設の活用について

杉村楚人冠記念館および白樺文学館を視察し、前回の総合教育会議で提案を受けた内容の検討状況を文化・スポーツ課より報告するとともに、施設活用について意見交換を行った。

(意見交換)

- 白樺文学館の音楽室を活用について、最初は、関係者を招いてお菓子と紅茶を提供するなど、試験的にやってみてはどうか。
→担当：リニューアル時に飲食の提供を考えているので、計画に盛り込むためにも積極的に検討したい。
- 音楽室には人数がどのくらい入るか。
→担当：10人ほどが定員と考えている。
- 1部屋に限定せずに、各部屋を活用しても良いのではないかと。
→担当：収容人数が増やせるので良い案だと思う。他に図書室、ピアノの置いてあるサロンを使うと30人くらい対応できるのではないかと。
- お手洗を考えると、あまり人数は増やせないのではないかと。
→担当：元々私設のサロンとして使われていたので、大人数は難し

いと考えている。

- ピアノ演奏を聴きながらお菓子や紅茶を愉しむなど、付加価値を付けた企画にしてはどうか。
→担当：ほかにも企業向け等で貸し出し施設としても使えるよう検討することも可能だと思う。
- 今年度設置した白樺文学館基金には、どのくらい集まっているか。
→担当：110万円ほど集まっている。高額の募金者のほかに文化・スポーツ課が関わっている講演会などのときに募金箱を持参するようにしている。
- 志賀直哉邸跡書斎修復のように、クラウドファンディングを活用することは検討しているか。
→担当：検討しているが、クラウドファンディングを行うにあたって、より効果的に賛同を得るためには具体的なスケジュールが必要であるため、白樺文学館基金等で計画が具体化した時点で行う予定である。
- 企業版ふるさと納税も集められると良いと思う。
→担当：企業向けの返礼品として体験型イベントを提供できると考えている。ぜひ、取り組んでいきたい。

以上